

液状化判定計算システム LIQUEUR バージョンアップ

NEW

Ver. 15.1 【2012/8 リリース】

バージョンアップ

H24道示対応

フル機能版、機能限定版対応

- 地域別補正係数の変更
- 地表面の設計水平震度の標準値の変更
- レベル1地震動計算にも対応
- 粘土層も液状化対応に変更
- 低減係数DEの計算方法が変更

建築基礎構造設計指針(液状化の程度に対応)

フル機能版対応

- 液状化の程度Dcyの計算を追加

港湾の施設の技術上の基準・同解説(H19年改訂版)対応

フル機能版対応

- 液状化の判定基準に「港湾の施設の技術上の基準・同解説(H19年改訂版)」を追加
・等価加速度に波形補正係数を考慮した液状化の判定基準を追加

制限値拡張

フル機能版対応

- 地震応答解析の地層数の制限値の拡張 (99→300)
- G-γ 曲線の制限値の拡張 (99→300)

G-γ 曲線のCSVファイルの入出力

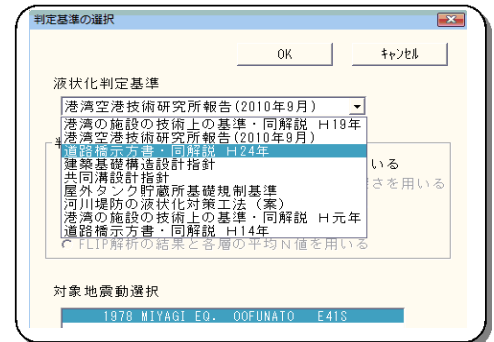
フル機能版対応

- ひずみ依存曲線のCSVファイルの入力
- ひずみ依存曲線のCSVファイルの出力

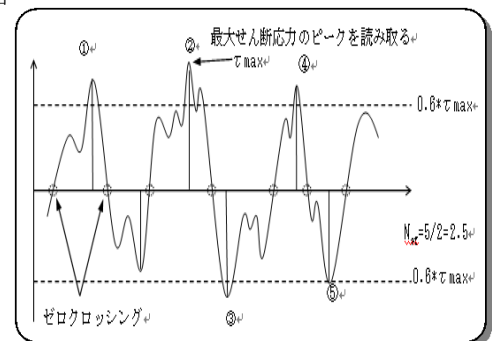
その他

フル機能版、機能限定版対応

- SI単位系のみの取り扱いに変更しました。
従来単位系への変換、および従来単位系での計算が出来ませんので注意願います



設計条件(判定基準の選択)画面



液状化の判定基準に「港湾の施設の技術上の基準・同解説(H19年改訂版)」の有効波数Nefの定義方法

過去のバージョンアップ

Ver. 14 【2009/9 リリース】

- 液状化判定図に土質柱状図記号を表示
- 等価線形化法による水平地盤の非線形解析に対応
- 等価線形化法の最大繰り返し回数の制限値を20→99へ拡張
- ひずみ依存曲線のひずみを外挿により低減できる機能を追加
- R-Oモデルのパラメタ設定ツールを追加
- 任意の2層間の相対変位が最大となる時刻の自動計算
- 任意時刻の応答深度分布図の表示、出力
- FLIP Ver.6.0.6 に対応

Ver. 13 【2007/09 リリース】

- 港湾の施設の技術上の基準(平成19年)に対応
- FLIP Ver3.3の水平成層地盤のプレポスト機能を追加
- モデル図、作図の色・線種の変更・保存を追加
- 入力地震波の制限値を65536に拡張
- 液状化判定の報告書出力を追加
- 作図のテキスト出力機能の出力フォーマットの選択

Ver. 12 【2004/09 リリース】

- 有効応力解析YUSAYUSA)に対応
- モデル化の印刷機能を追加
- 計算結果のCSV形式ファイル出力機能を追加
- 自動カウントアップ機能(ネットキーバンク利用者対象)を追加

Ver. 11 【2002/09 リリース】

- 建築基礎設計指針(2001年10月改定)に対応
- 液状化判定の計算過程をCSV形式のファイルに出力
- 複数地震動による地震応答解析の追加
- 地震応答解析時に、大ひずみ発生時の解析制度の向上
- 地層数、ひずみ依存曲線数の制限値を拡張 50 ⇒ 99